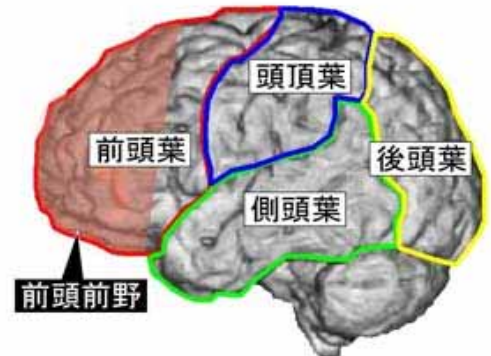


みんなの「ゆめ」の実現のために（全校集会での校長講話より）

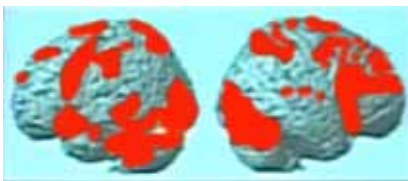
昨日(4月22日)に、全校集会がありました。その時校長から、全校生にお話した内容について、保護者の皆様にもお伝えします。

まず、みんなには、それぞれ「ゆめ」がある。その夢をかなえるためには、「体を鍛える」「心を育てる」他に、「頭(脳)を鍛える」ことも大事だよ、ということから話し始めました。

右の図の、色が少し濃い部分(前頭前野)は、人間だけがこんなに大きくて、人間が一番近いチンパンジー(類人猿)でも、ほんのわずか。犬や猫に至っては、「ペナペナ」の状態であるということ。人間が人間であるのは、この赤い部分が大事な部分であるということをお伝えしました。



さて、この部分を鍛えるためには、どうしたらいいかについてですが、脳が活性化している時に色がつくようにした時の図を、みんなに提示しました。例えば、左の図は、読書をしている時の脳の様子です。かなり色づいていることがわかります。ということで、



読書をしているときの脳の様子

その1「読書をするということ」は大変有効です。このことは、読書が続けていた70歳代の方の脳が、大学生とほとんど変わらず、老化していなかったということからもわかります。是非、ご家庭でも、本

を読むことを奨励いただければと思います。

その2「書いてみること」もいいことです。何かを覚えるときに、ただ見て覚えるよりも、書きながら覚えた方がいいように、書くという作業は、脳によい影響をもたらします。

その3「テレビゲームは、学習をし終わってからした方がいい」ということを話しました。テレビゲームは、指を使って、頭を使っているような気がするのですが、脳は活性化しているかということ、テレビゲームをした後の脳を見てみるとほとんど色がついていない(使っていない)のです。しかも、テレビゲームをした後は、脳を使おうとしても、なかなか働き出さないということもわかっています。この結果には、私も愕然としました。テレビゲームは、時間を決めてやる。そして、やるタイミングは、宿題などを終えてからやるのがいいと思います。

小山田小学校の子どもたちには、バランスよく「心」「体」「脳」を鍛えて、自分の夢を現実のものとしてほしいと思っています。また、そうなるように、学校と家庭が手を携えていきたいと思っています。

(このデータは、東北大学教授川島隆太先生の研究成果を引用させていただきました。)

小山田小学校ホームページ運用中です
<http://www.edu.city.koriyama.fukushima.jp/oyamada-e/>
もしくは、「郡山市立小山田小学校」で検索ください。